

## 環境に関する事業所アンケート調査結果（速報）

「第二期島本町環境基本計画」の策定にあたり、環境に対する社会動向や住民の意識など、現行の島本町環境基本計画策定以降の変化を的確に捉えるとともに、町への意向などを把握し、同計画に反映させることを目的に、アンケート調査を実施しました。

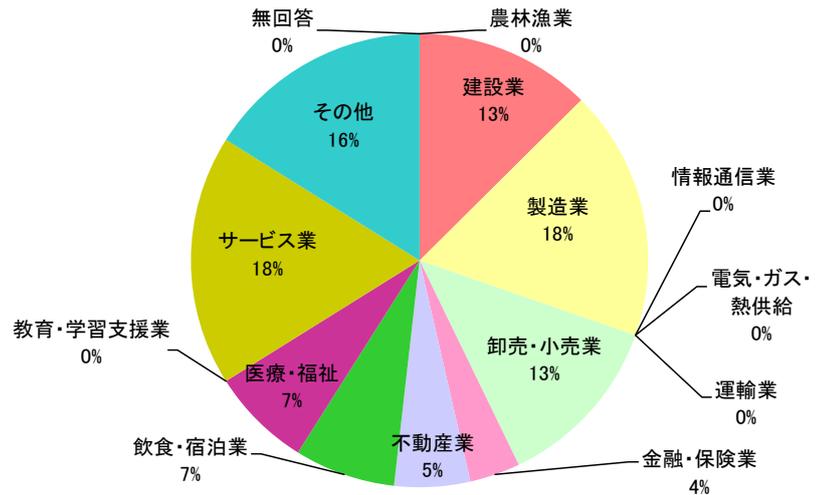
事業所アンケート調査の概要は、以下のとおりです。

項目	調査結果
対象	島本町の事業所 100 社（無作為抽出）
調査方法	直接郵送法
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ご担当者様について</li><li>・ 貴事業所について</li><li>・ 環境保全に関する取組について</li><li>・ SDGs に関する取組について</li><li>・ 環境学習や学習の取組について</li><li>・ 地球温暖化対策について</li><li>・ 生物多様性について</li></ul>
実施期間	2024 年 6 月 17 日～7 月 10 日
回収状況	56 件（回収率：56%）

## ■ 貴事業所について

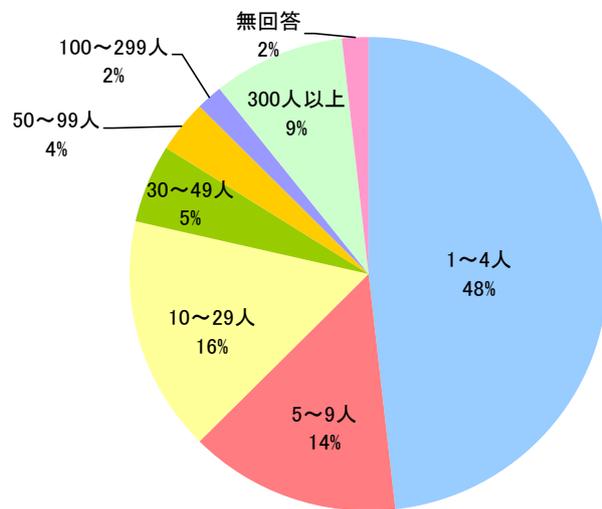
### ①業種

業種は、「製造業（18%）」及び「サービス業（18%）」が最も多く、次いで「その他（16%）」、「建設業（13%）」及び「卸売・小売業（13%）」の順でした。



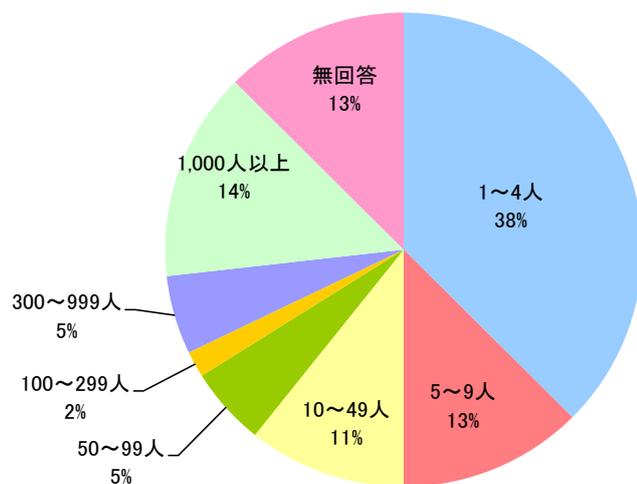
### ②従業員数（事業所）

従業員数（事業所）は、「1～4人（48%）」が最も多く、次いで「5～9人（14%）」、「10～29人（16%）」、「30～49人（5%）」の順でした。



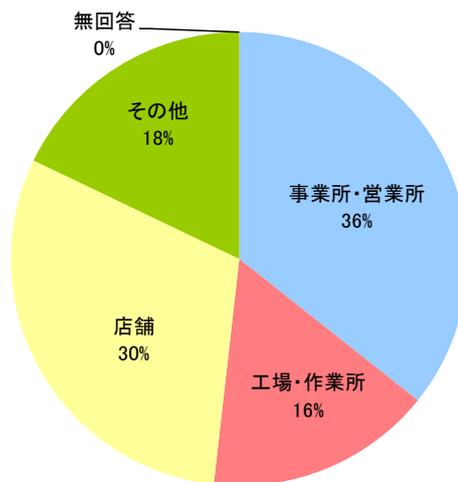
### 従業員数（全社）

従業員数（全社）は、「1～4人（38%）」が最も多く、次いで「5～9人（13%）」、「10～49人（11%）」、「50～99人（5%）」の順でした。



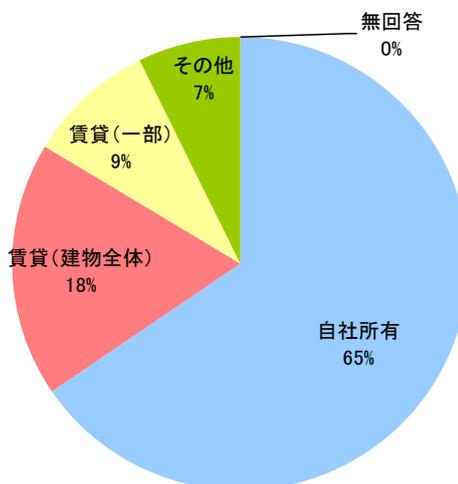
### ③事業所形態（主なものを1つ）

事業所形態は、「事業所・営業所（36%）」が最も多く、次いで「店舗（30%）」、「その他（18%）」、「工場・作業所（16%）」の順でした。



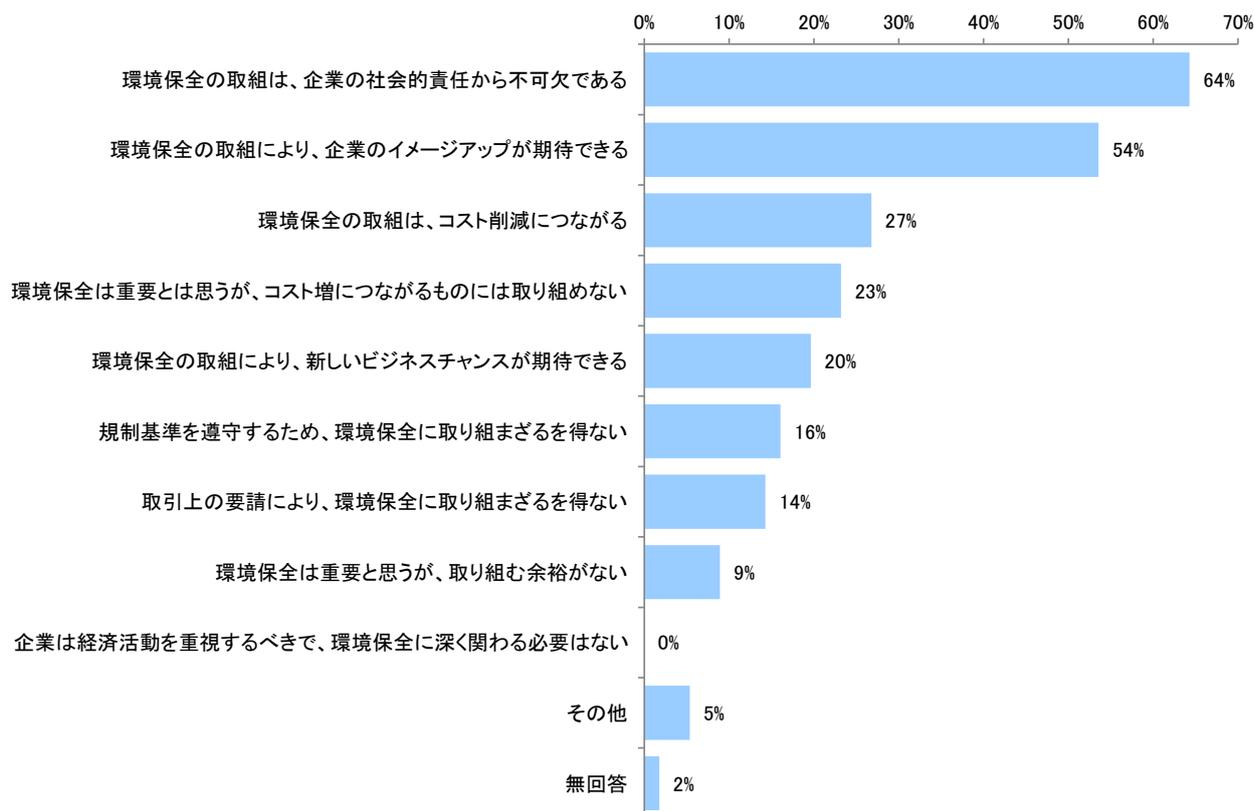
### ④入居形態

入居形態は、「自社所有（65%）」が最も多く、次いで「賃貸（建物全体）（18%）」、「賃貸（一部）（9%）」、「その他（7%）」の順でした。



問 1 事業者による環境保全に関する取組について、貴事業所のお考えにあてはまる番号すべてに○を付けてください。

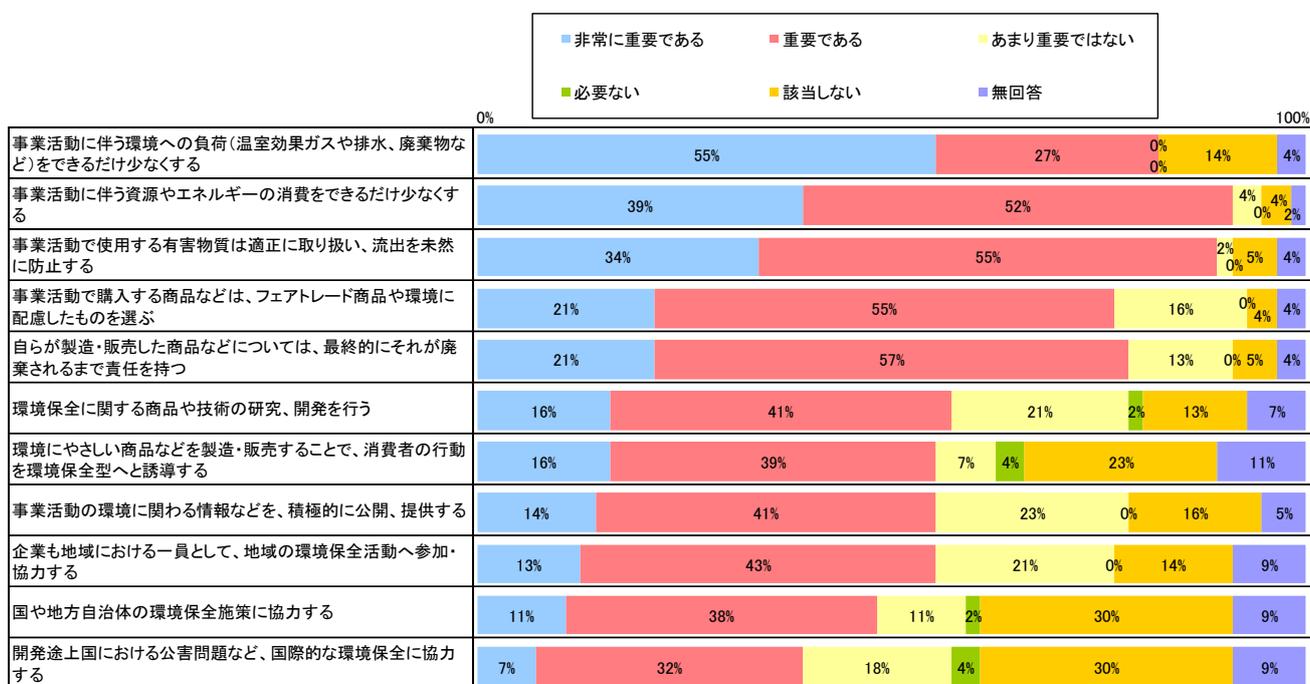
「環境保全の取組は、企業の社会的責任から不可欠である（64%）」が最も多く、次いで「環境保全の取組により、企業のイメージアップが期待できる（54%）」、「環境保全の取組は、コスト削減につながる（27%）」の順でした。



**問2** 環境保全に対する事業者の社会的な役割について、項目ごとに、それぞれ貴事業所のお考えにあてはまる選択肢を1つ選び、あてはまる番号に○をつけてください。

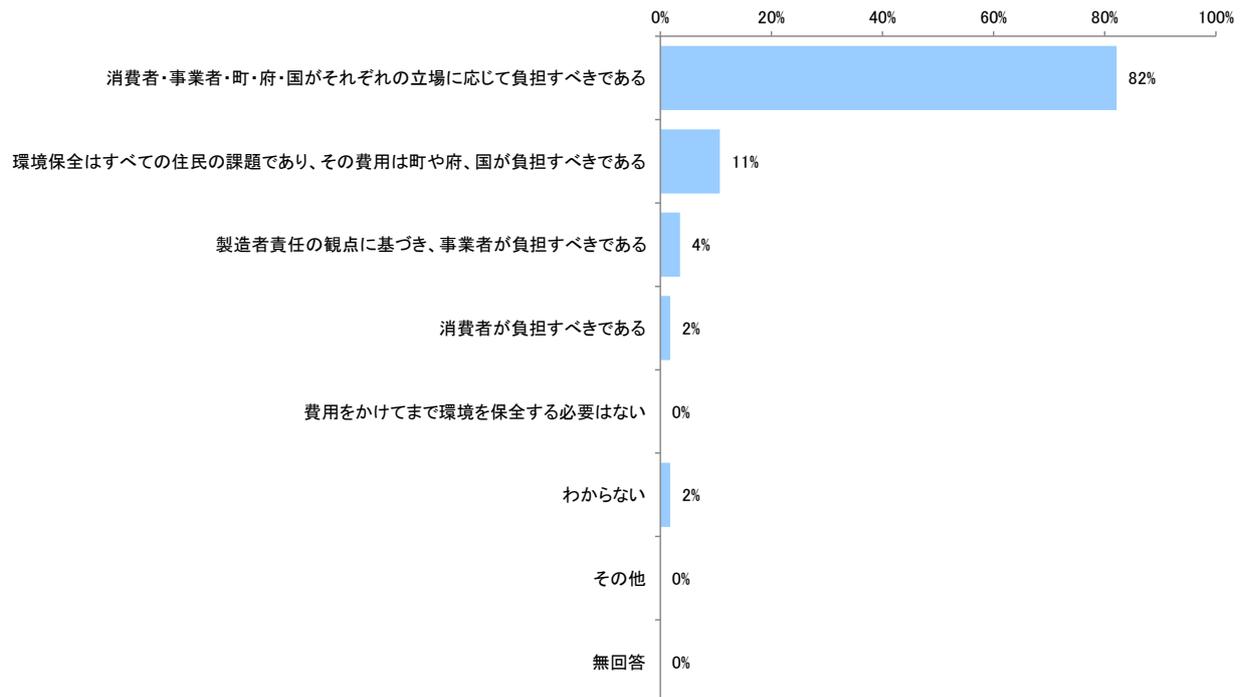
「非常に重要である」が最も多かったのは「事業活動に伴う環境への負荷（温室効果ガスや排水、廃棄物など）をできるだけ少なくする（55%）」、次いで「事業活動に伴う資源やエネルギーの消費をできるだけ少なくする（39%）」、「事業活動で使用する有害物質は適正に取り扱い、流出を未然に防止する（34%）」の順でした。

「あまり重要でない」が最も多かったのは「事業活動の環境に関わる情報などを、積極的に公開、提供する（23%）」、次いで「環境保全に関する商品や技術の研究、開発を行う（21%）」及び「企業も地域における一員として、地域の環境保全活動へ参加・協力する（21%）」の順でした。



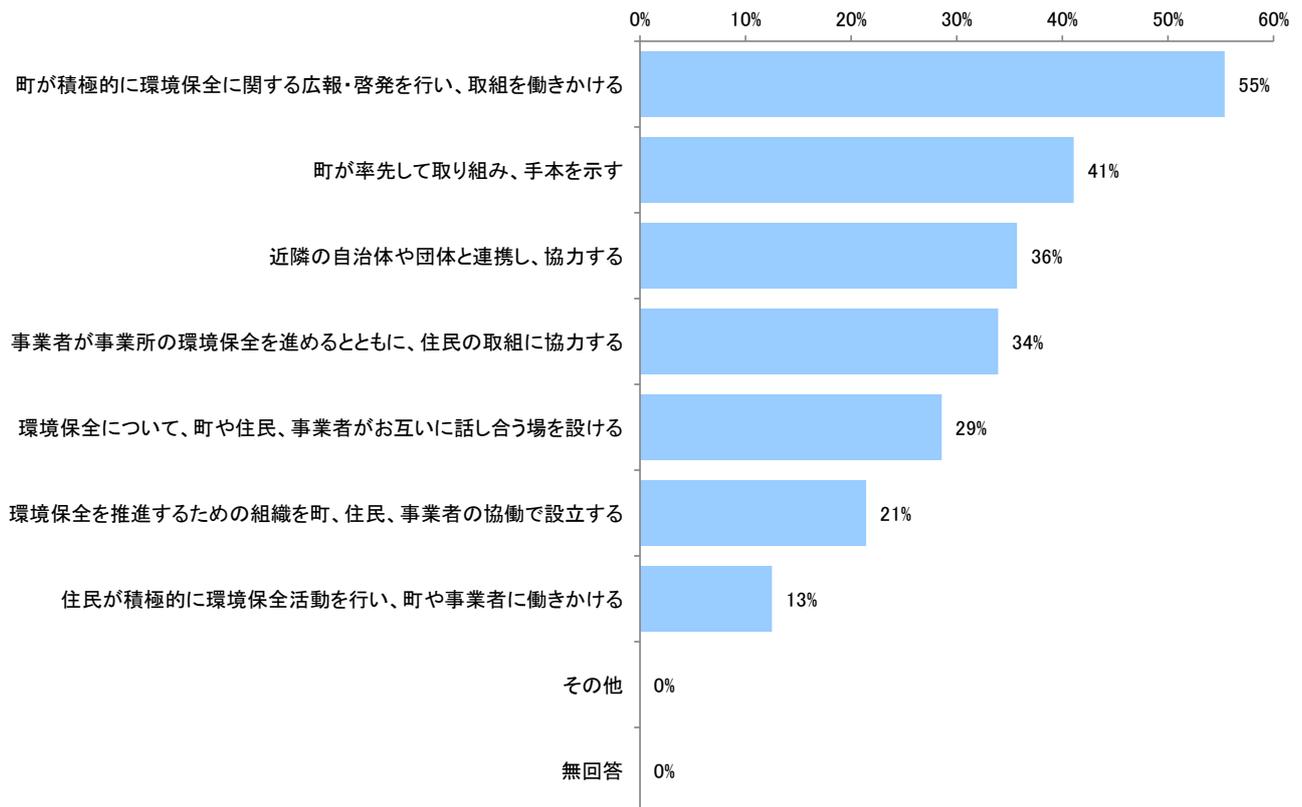
**問3** 環境保全のための費用は、どのように負担すべきだとお考えですか。次の中から、貴事業所のお考えに最も近いと思う番号を1つ選び○をつけてください。

「消費者・事業者・町・府・国がそれぞれの立場に応じて負担すべきである（82%）」が最も多く、次いで「環境保全はすべての住民の課題であり、その費用は町や府、国が負担すべきである（11%）」、「製造者責任の観点に基づき、事業者が負担すべきである（4%）」の順でした。



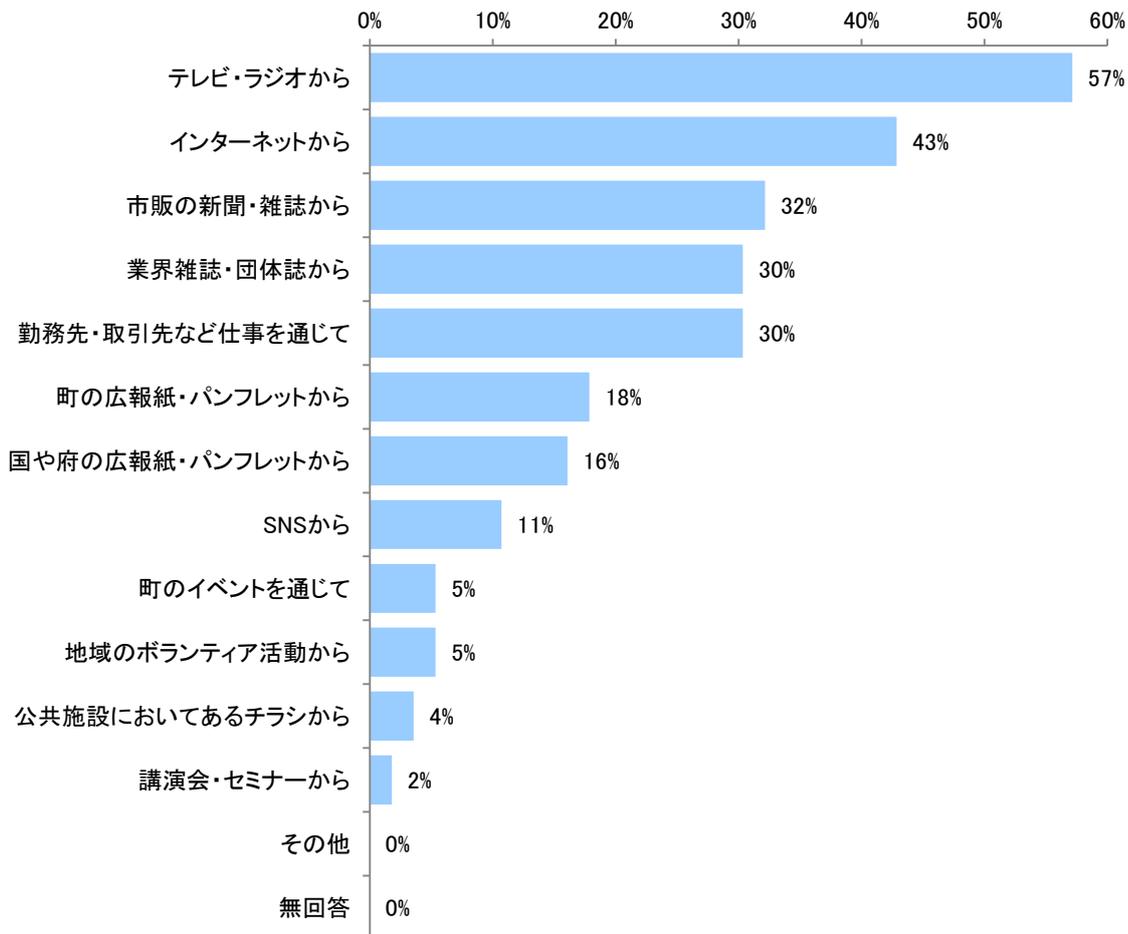
問4 町や住民、事業者が協力して取り組んでいくために重要と思うことを選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

「町が積極的に環境保全に関する広報・啓発を行い、取組を働きかける（55%）」が最も多く、次いで「町が率先して取り組み、手本を示す（41%）」、「近隣の自治体や団体と連携し、協力する（36%）」の順でした。



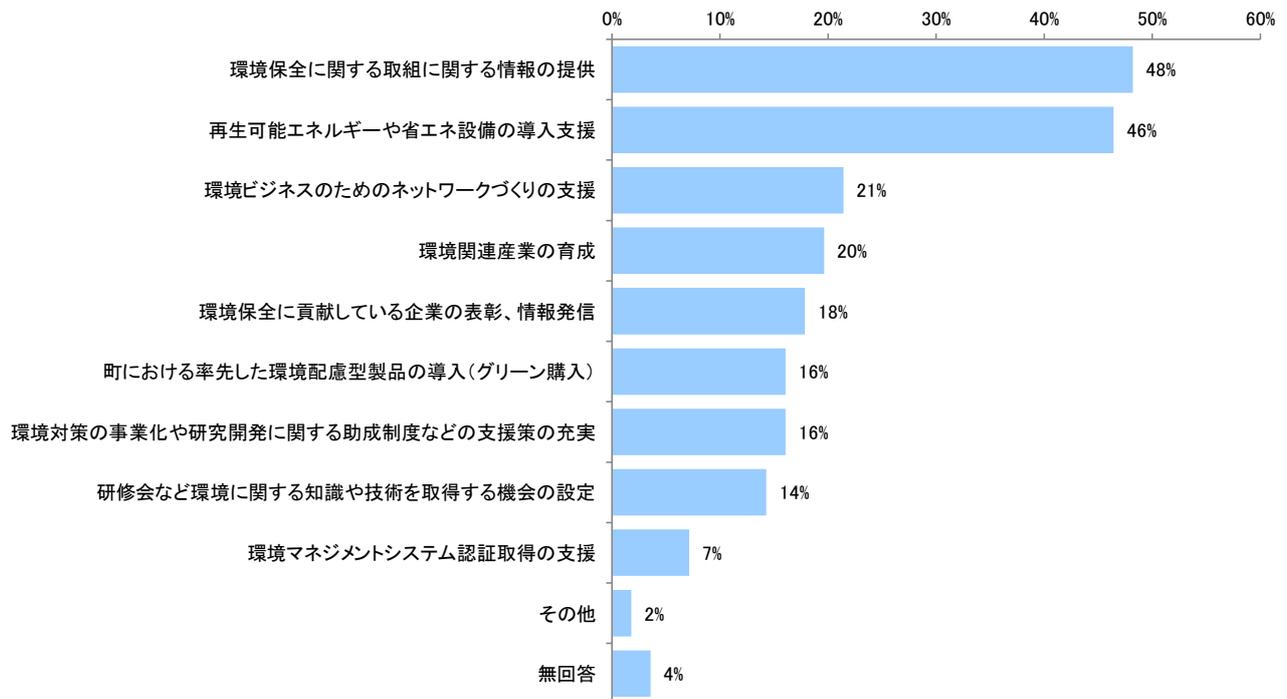
問5 貴事業所は普段、どんな方法で環境の情報を入手していますか。次の中から、よく利用している方法を選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

「テレビ・ラジオから (57%)」が最も多く、次いで「インターネットから (43%)」、「市販の新聞・雑誌から (32%)」の順でした。



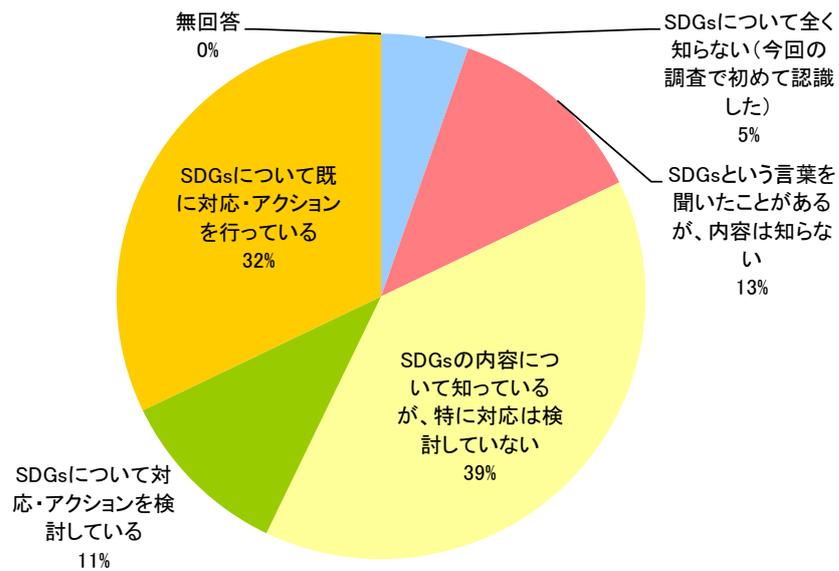
**問 6** 事業者が行う環境保全に関する取組に対する町の支援策などについて、今後、重点的な対応が必要だと思うものを選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

「環境保全に関する取組に関する情報の提供 (48%)」が最も多く、次いで「再生可能エネルギーや省エネ設備の導入支援 (46%)」、「環境ビジネスのためのネットワークづくりの支援 (21%)」の順でした。



問7 貴事業所におけるSDGs※2の認知度や対応状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

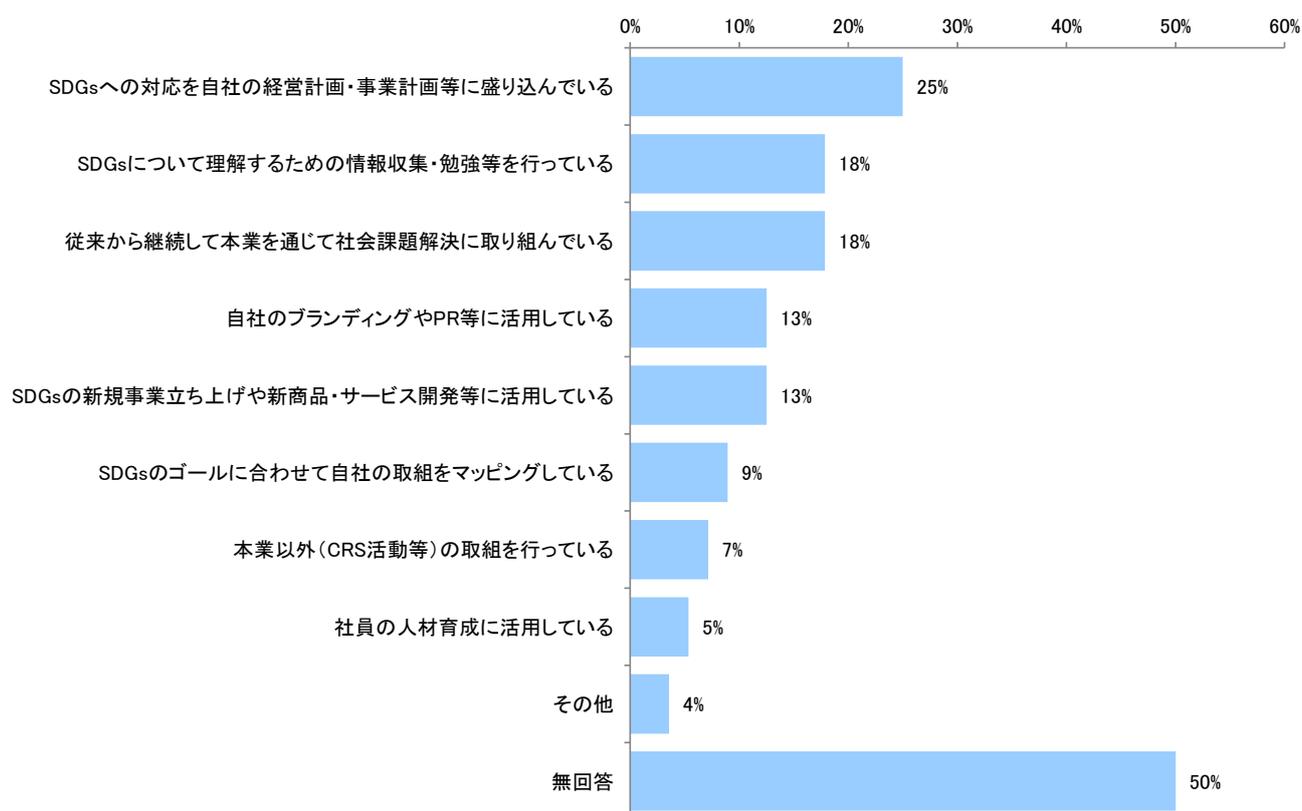
「SDGsの内容について知っているが、特に対応は検討していない(39%)」が最も多く、次いで「SDGsについて既に対応・アクションを行っている(32%)」、「SDGsという言葉聞いたことがあるが、内容は知らない(13%)」の順でした。



**問 8** 問 7 で「SDGs について対応・アクションを検討している」「SDGs について既に対応・アクションを行っている」と回答された事業所にお聞きます。貴事業所での SDGs への具体的な対応状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「SDGs への対応を自社の経営計画・事業計画等に盛り込んでいる (25%) が最も多く、次いで「SDGs について理解するための情報収集・勉強等を行っている (18%)」及び「従来から継続して本業を通じて社会課題解決に取り組んでいる (18%)」の順でした。

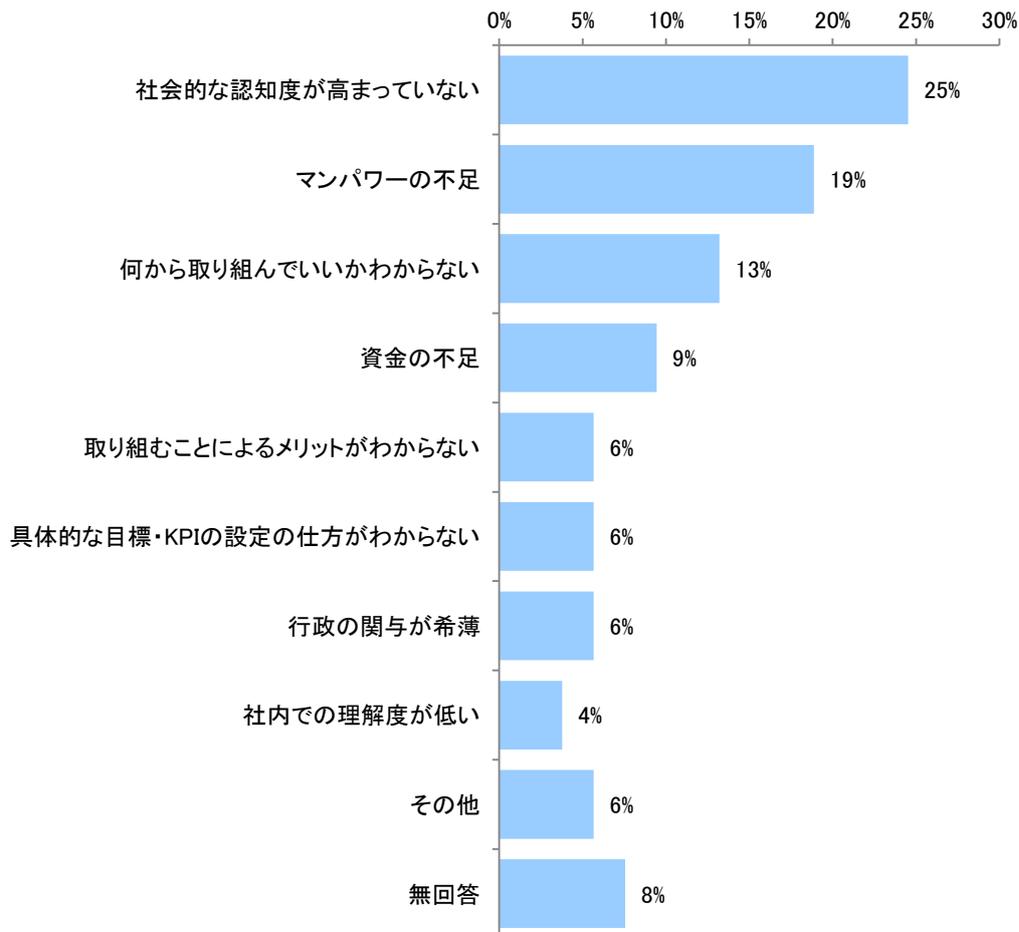
一方、「社員の人材育成に活用している (5%)」が最も低い回答でした。



**問9** SDGs を取り組む際の課題について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

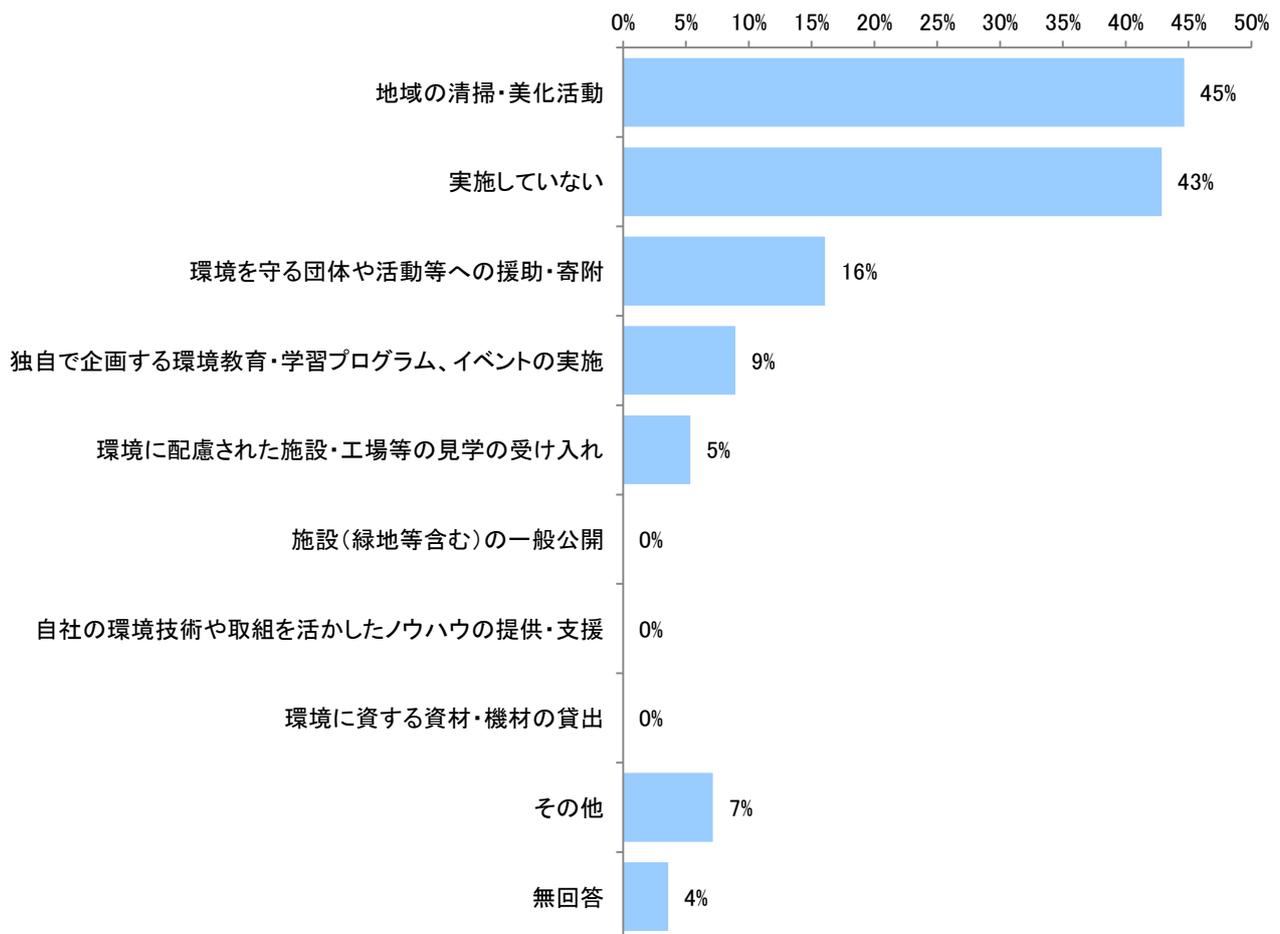
「社会的な認知度が高まっていない (25%)」が最も多く、次いで「マンパワーの不足 (19%)」、「何かから取り組んでいいかわからない (13%)」の順でした。

一方、「社内での理解度が低い (4%)」が最も低い回答でした。



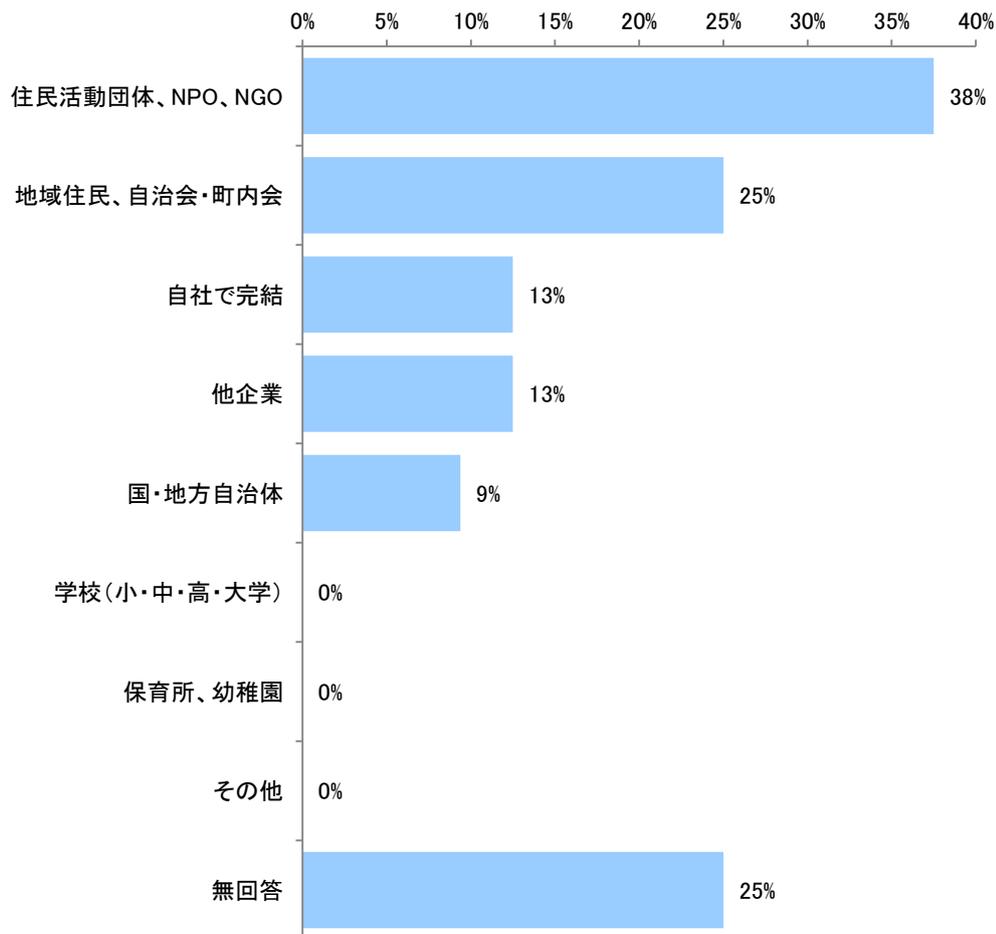
問 10 貴事業所では社外に向けた環境保全活動や環境教育・学習の取組として、どのようなことを実施していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「地域の清掃・美化活動（45%）」が最も多く、次いで「実施していない（43%）」、「環境を守る団体や活動等への援助・寄附（16%）」の順でした。



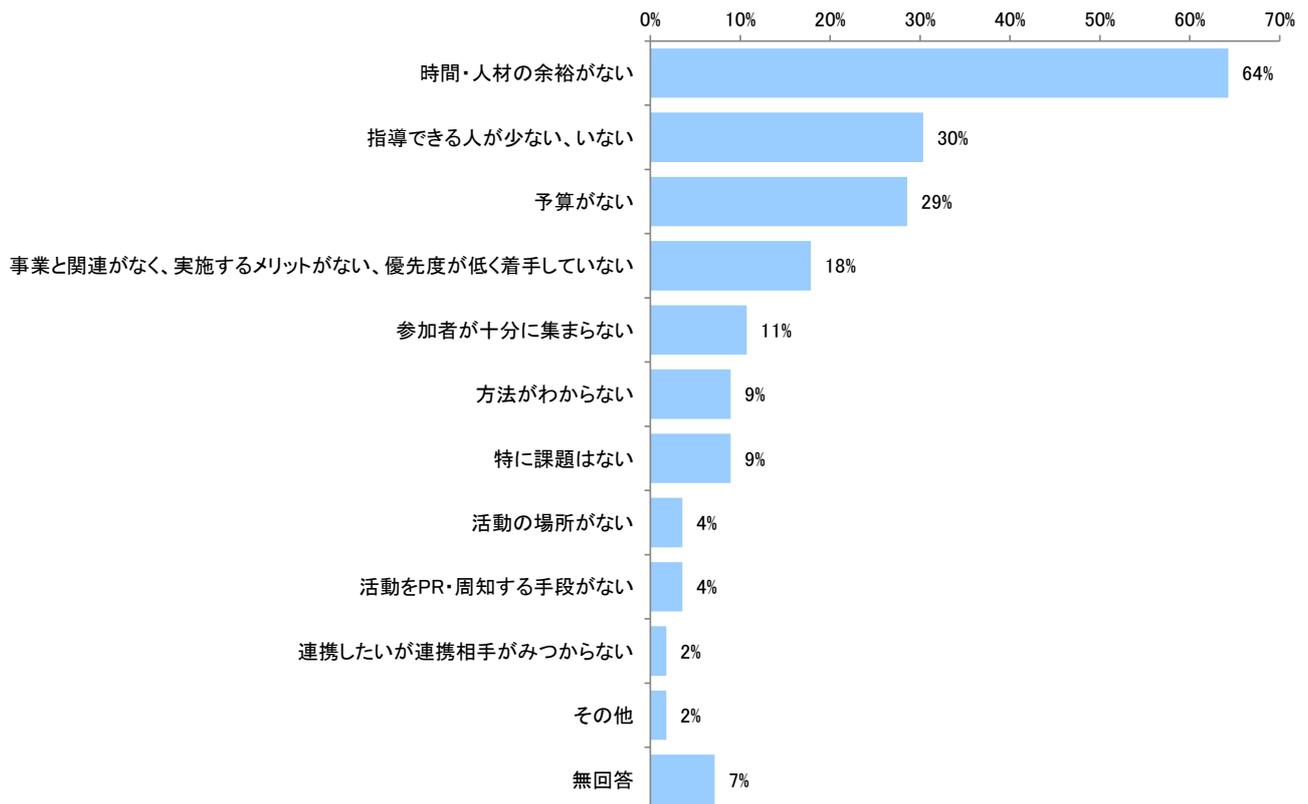
問 11 問 10 で「実施していない」以外を選択した事業所にお聞きします。貴事業所では環境保全活動や環境教育・学習の取組を実施するにあたり、どのような団体と連携を図っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「住民活動団体、NPO、NGO（38%）」が最も多く、次いで「地域住民、自治会・町内会（25%）」、「自社で完結（13%）」及び「他企業（13%）」の順でした。



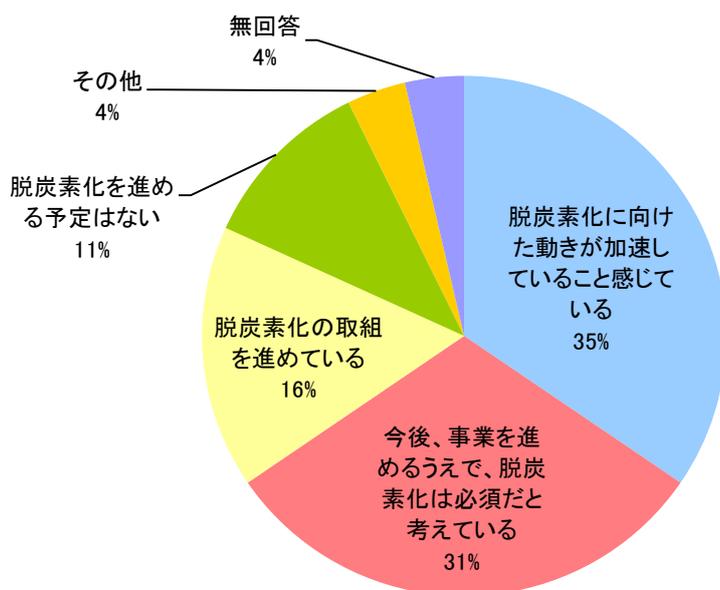
問 12 社外に向けた環境保全活動や環境教育・学習の取組を実施するにあたり、課題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「時間・人材の余裕がない (64%)」が最も多く、次いで「指導できる人が少ない、いない (30%)」、「予算がない (29%)」の順でした。



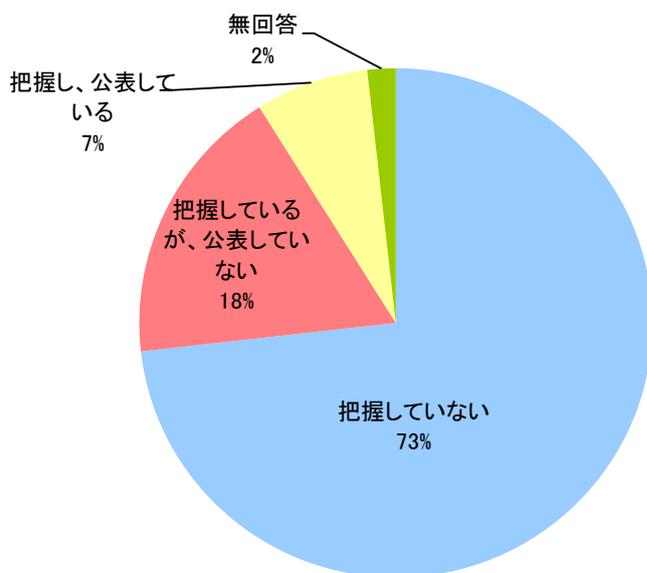
問 13 脱炭素化に向けた社会の変化について、貴事業所を取り巻く状況はどのように変化しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「脱炭素化に向けた動きが加速していると感じている（35%）」が最も多く、次いで「今後、事業を進めるうえで、脱炭素化は必須だと考えている（31%）」、「脱炭素化を進めている（16%）」の順でした。



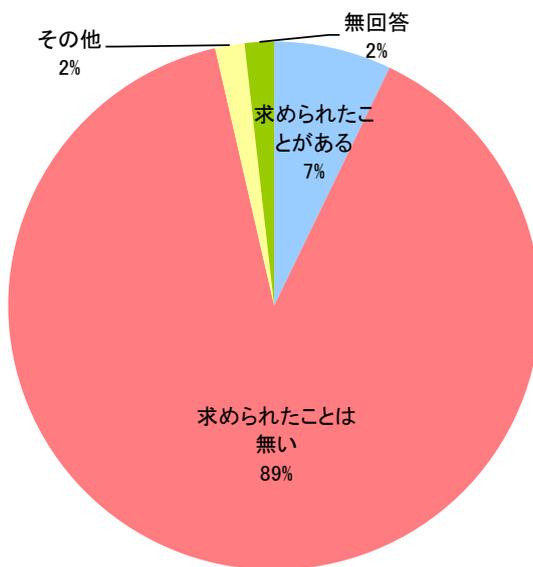
問 14 貴事業所では自社の温室効果ガス排出量について把握し、公表していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「把握していない (73%)」が最も多く、次いで「把握しているが、公表していない (18%)」、「把握し、公表している (7%)」の順でした。



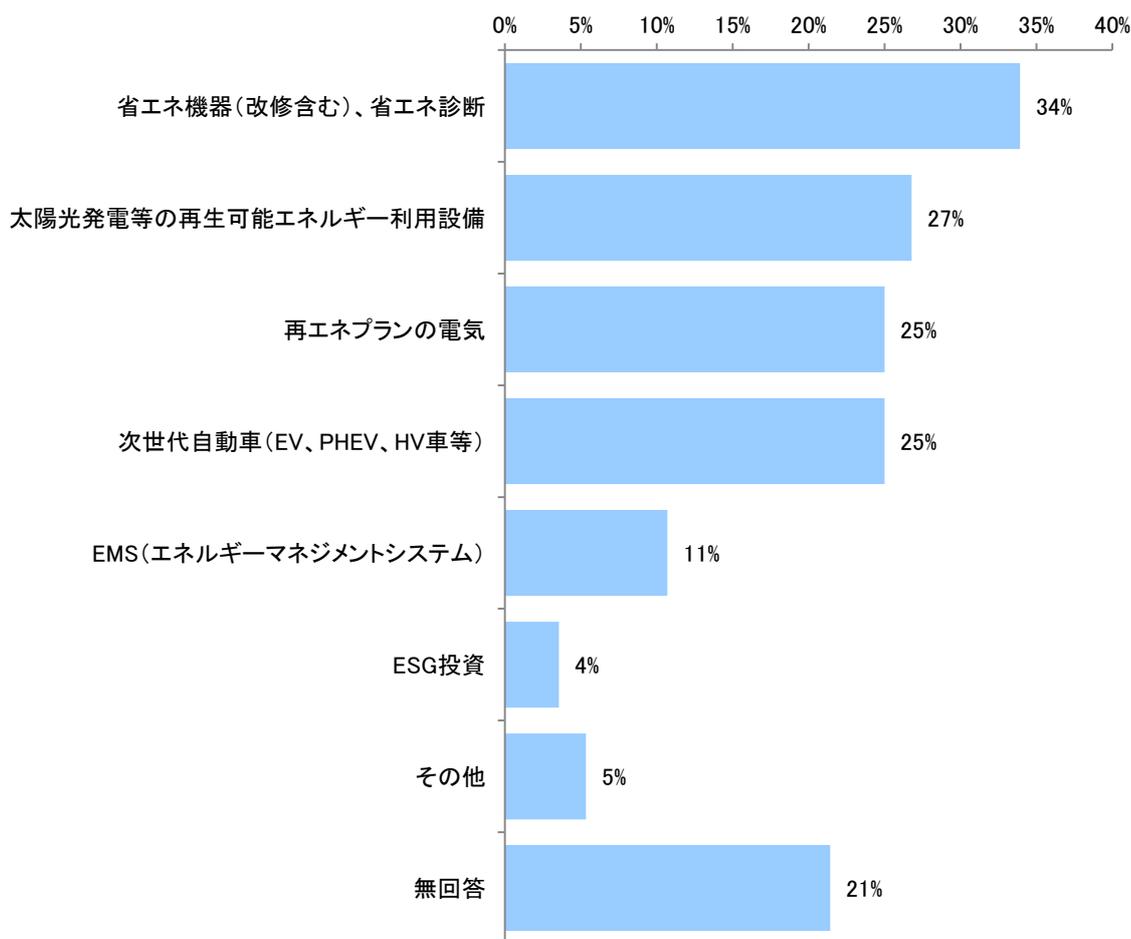
問 15 貴事業所では取引先から温室効果ガスの削減や目標設定を求められたことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「求められたことは無い (89%)」が最も多く、次いで「求められたことがある (7%)」、「その他 (2%)」の順でした。



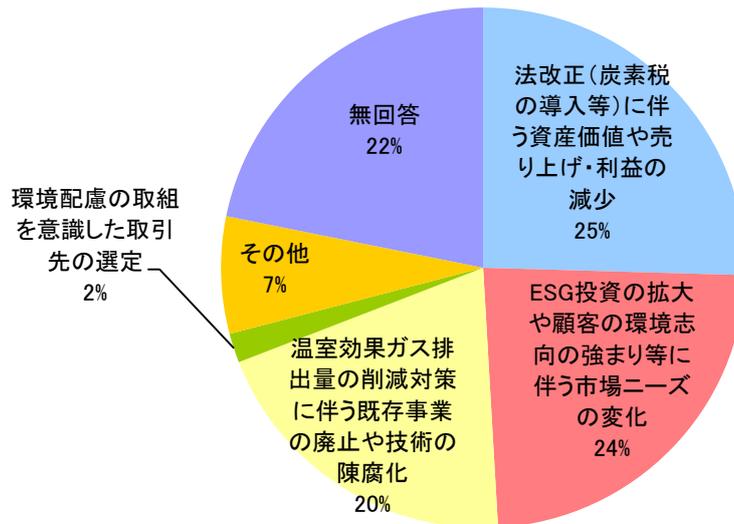
問 16 貴事業所において、省エネ対策、再エネ利用設備等について興味があるもの、導入を検討しているものはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「省エネ機器（改修含む）、省エネ診断（34%）」が最も多く、次いで「太陽光発電等の再生可能エネルギー利用設備（27%）」、「再エネプランの電気（25%）」及び「次世代自動車（EV、PHEV、HV車等）（25%）」の順でした。



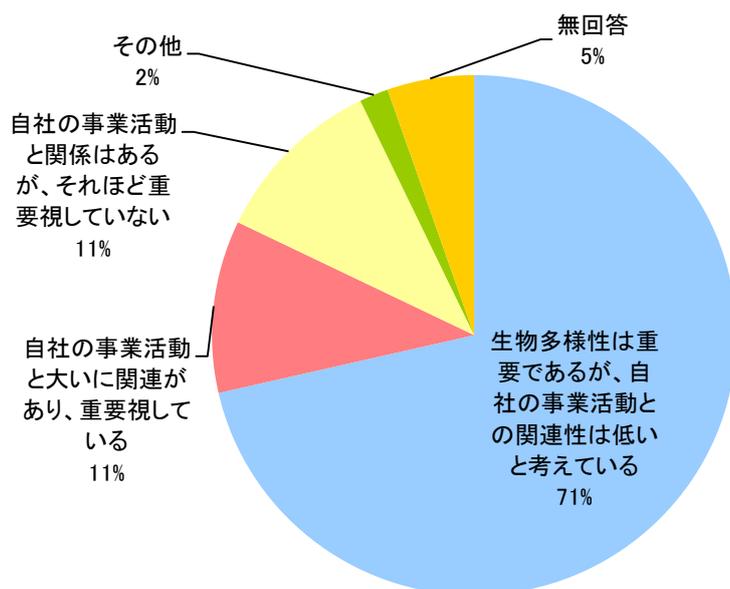
問 17 貴事業所において、事業を進めていく上で気候変動や地球温暖化による売り上げ減少や経営悪化のリスク要因として考えられるものは何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「法改正（炭素税の導入等）に伴う資産価値や売り上げ・利益の減少（25%）」が最も多く、次いで「ESG投資の拡大や顧客の環境志向の強まり等に伴う市場ニーズの変化（24%）」、「温室効果ガス排出量の削減対策に伴う既存事業の廃止や技術の陳腐化（20%）」の順でした。



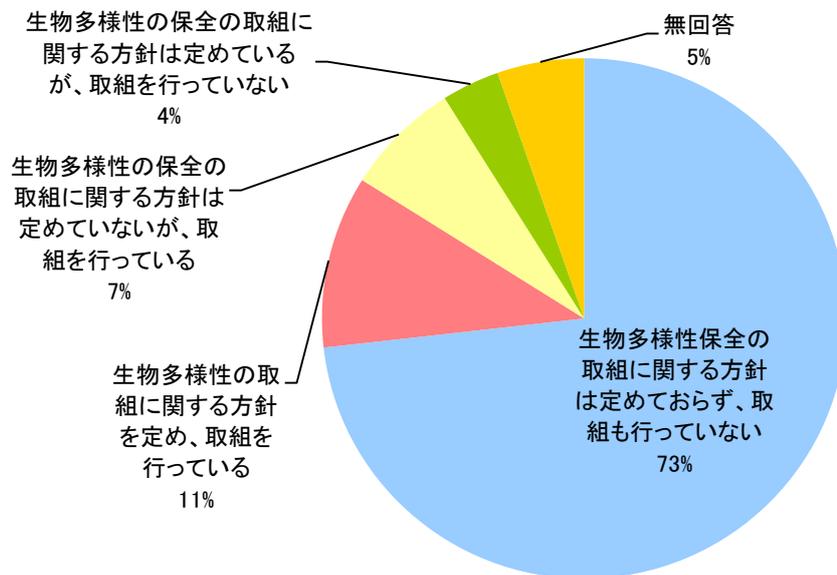
問 18 貴事業所の事業活動と生物多様性の保全への取組との関連性として、あてはまる番号1つ○をつけてください。

「生物多様性は重要であるが、自社の事業活動との関連性は低いと考えている（71%）」が最も多く、次いで「自社の事業活動と大いに関連があり、重要視している（11%）」及び「自社の事業活動と関係はあるが、それほど重要視していない（11%）」の順でした。



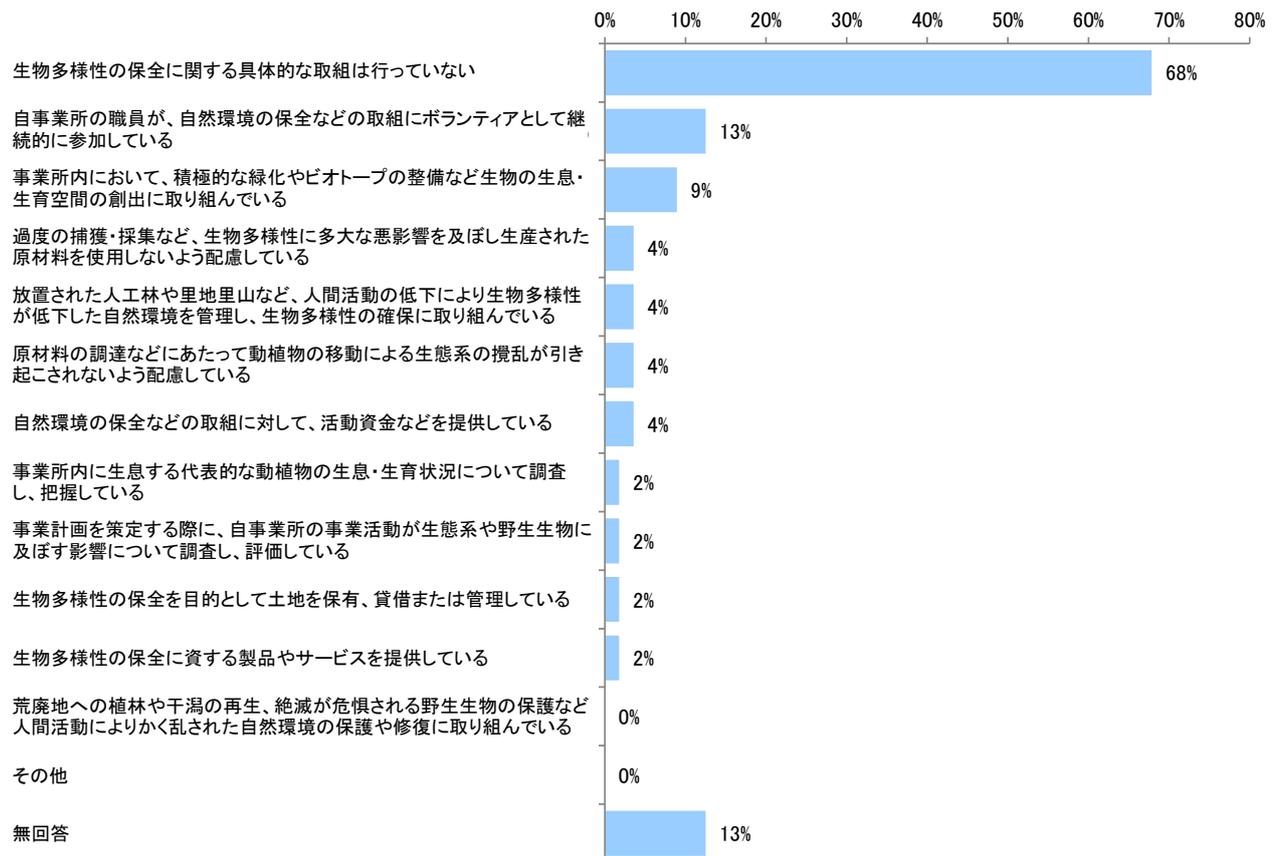
問 19 貴事業所では、環境に対する経営方針あるいは事業活動の中で、生物多様性の保全への取組について、どのように位置付け、取り組んでいますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「生物多様性保全の取組に関する方針は定めておらず、取組も行っていない（73%）」が最も多く、次いで「生物多様性の取組に関する方針を定め、取組を行っている（11%）」、「生物多様性の保全の取組に関する方針は定めていないが、取組を行っている（7%）」の順でした。



**問 20** 貴事業所の行っている生物多様性の保全に関する具体的な取組内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「生物多様性の保全に関する具体的な取組は行っていない（68%）」が最も多く、次いで「自事業所の職員が、自然環境の保全などの取組にボランティアとして継続的に参加している（13%）」、「事業所内において、積極的な緑化やビオトープの整備など生物の生息・生育空間の創出に取り組んでいる（9%）」の順でした。



**問 21** 事業者として感じる島本町の環境の魅力や、環境施策の具体的な推進方法のご提案、困っている環境問題など、ご自由にお書きください。

ご意見・ご提案について、以下の意見がありました。

<p>変化に対してのアレルギーが少なく、変わりたいと思っている人が多い反面、行動に移す人はまだまだ少なく、リテラシーも高くない為、必要性、具体的なメリットを明確にして、進んでいく事が必要。補助金などがあれば、(小規模でも使える)フックになると思うので、是非お願いします。</p>
<p>高槻市では学校給食から出る牛乳パックを作業所で回収・洗浄・乾燥し、リサイクル業者へ出しているとのことで、町内でもそのような取組みが出来ればと思います。</p>
<p>町のすぐ近くに自然が残っている現状を大切にしなければと思っています。しかし、実際には山の手入が出来ない為に、放置したままの所が多く見られる様になって来ていると感じています。行政として、何か手を打っていただけないかと思っています。</p>
<p>廃プラ系のゴミについて、マテリアルリサイクルを推進したいが、業者が見つからず困っている。</p>
<p>営業時間外にたばこの吸い殻を会社前グレーチングにポイ捨て、コーヒー等の空き缶を会社侵入口両側にある黄色の鉄骨の上にポイ捨てされます。会社前 10m 先からは農道で歩行者と自転車専用道路ですが、バイクが 1 日に 20 台違反走行しています。南側からの道路標識がバイクには目に付きにくいです。</p>
<p>弊社は、内水氾濫地域であり、今後温暖化による集中豪雨は多いに懸念され、町の方では雨水幹線整備工事実施していますが、設計上の降水量と処理能力の具体的な数字を示し、地域の安全安心により貢献して頂ければと感じています。</p>
<p>町が率先して環境問題に取り組むべきだと思うが、相応のコストがかかるものなので、今の入札制度と折り合いがつかないのでは？</p>
<p>会社として困っていることはありませんが、年々自然が少なくなっていると感じています。</p>
<p>道路にゴミが落ちていない。植木の手入れが行きとどいている。側溝にフタがないので、大雨の時に冠水した後、道路が泥だらけや、枝などが散乱している。フタがほしい。</p>
<p>水無瀬の水源や、地下水の確保は大丈夫か。山林資源の維持管理が継続的にできるよう、山林の測量や境界の確定を上空からでも進めるべき。</p>
<p>化石燃料に頼っている現在の人類の生産活動において環境を良くしたり、生物多様性の保全を求めたりする事は 100%無理であると考えます。しかし、良くする事は無理としても現状維持は可能と考えます。その具体案がどこかにあると思うのですが、現在のところ見出せていないのが現状です。</p>
<p>水がおいしく自然が豊かな島本町ですが、「手つかずの自然」という印象で、大切に守られているとは思えません。ホテルが見られる貴重な場所でも、何か保全されているのか？というと、ボランティアさんが少し整備されているぐらいのもの。心ない人の行動で壊れてしまったとしても、「あー、壊れてしまいましたね」としか思わないのではないのかな、という印象です。守るなら本気で守りたいですね。</p>
<p>島本町は都会と言われる大阪の中にあって、ご近所があり地域の付き合いが生きている少ない地域だと思います。開発等、経済発展が必要ですが小さな自治体であることを生かして取り組める発展はないかと考えます。駅西開発で田園が失われてしまいましたが、例えばピアトリクス・ポターが残したイギリス湖水地方のように今残る自然を守れないかなど思います。環境保全や SDGs 等環境施策を声高に言う前にできることがあるように思います。</p>